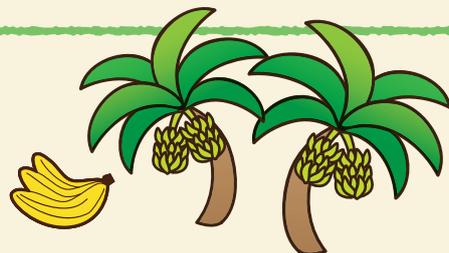




ケンブンスイッチ

8月号



SDGsに貢献できる紙。バナナペーパー

最近テレビなどでも取り上げられることが多くなった「SDGs」。今回は、ある「紙」を使うだけでSDGs達成に貢献できるという耳寄りな話をご紹介します。

その紙の名前は「バナナペーパー」。アフリカ南部ザンビアのバナナの茎から作られた紙製品です。今までは廃棄されていたバナナの茎の繊維を主原料に、日本の和紙の技術を用いて作られた風合いのある紙で、紙として日本初の「フェアトレード認証」を受けました。

フェアトレードとは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することにより、立場の弱い生産者や労働者の生活改善と自立をめざす取り組みのこと。バナナペーパーはザンビアの村に継続した雇用と衛生的な生活環境をもたらし、さらに森林保護や野生動物乱獲防止などにも役立っていることから、17あるSDGsの全てのゴールにつながるプロジェクトとして、注目を集めています。

バナナペーパーは、名刺や封筒をはじめ、様々な用途で使われ始めています。皆さんも身の回りの紙製品にバナナペーパーを採用し、SDGs達成に貢献しませんか。詳細は研文社までお問い合わせください。



▲バナナペーパーを使用して作ったSDGsシール